

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2023年3月14日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日	備考
1	【1号機滞留水移送装置(水位計測用)空気圧縮機(A)の不具合について】 当社運転員が、1号機滞留水移送装置(水位計測用)空気圧縮機(A)について、通常は0.69~0.79MPaの範囲で圧力を維持するよう運転・停止を繰り返す運転をするが、0.69MPaのまま変化なく運転し続けていることを確認。現場調査の結果、空気圧縮機(A)の系統出口弁(A)を閉じて圧力が上昇するか確認したが、上昇しなかったことから、当該空気圧縮機(A)の不具合と判断し、運転を停止した。 現在、空気圧縮機(A)(B)連絡弁を開き、空気圧縮機(B)より圧縮空気を供給。 今後、当該空気圧縮機(A)の圧力が上昇しない原因について調査し、改修する。	GIII	3月10日	
2	【ろ過水・純水設備加圧水ポンプ(A)過負荷による自動停止について】 委託運転員が、ろ過水製造のため運転していたろ過水・純水設備の加圧水ポンプ(A)が自動停止し、過負荷を示す警報を確認。 現場調査の結果、絶縁抵抗・巻き線抵抗測定を実施し、異常は確認されなかったが、軸の回転を確認したところ、軸の固着を確認したことから、これを原因と推定。 ろ過水製造については(B)系、(C)系が運転可能であるため、影響はない。 今後、当該加圧水ポンプ(A)を点検・修理する。	GIII	3月8日	
3	【雑固体廃棄物処理設備の空調設備用冷凍機のクリーンコンバータのケーブル断線および変色について】 当社社員が、雑固体廃棄物処理設備の空調設備用冷凍機のクリーンコンバータ(※)点検において、クリーンコンバータに接続されていたケーブルの断線および、熱によると思われる変色を確認。 なお、当該のクリーンコンバータは、ノイズの発生が確認されていないため、当該空調設備用冷凍機のクリーンコンバータに接続されている全てのケーブルを外しており、2022年7月13日公表の不適合「雑固体廃棄物焼却設備空調用冷凍機(B)系の停止について」の原因調査として点検したものの。 今後、原因について調査を実施する。 ※クリーンコンバータ:高周波ノイズ除去用のインバータ設備	GIII	3月8日	2023.3.17 訂正 正:2022年7月13日公表の不適合「雑固体廃棄物焼却設備空調用冷凍機(B)系の停止について」の原因調査として点検したものの。 誤:2022年7月29日公表の不適合「5号機化学分析室空調設備冷却器(B)からの発煙について」の原因調査として点検したものの。
4	【既設多核種除去設備(A)系クロスフローフィルタ用高性能容器監視機能の一部動作不良について】 当社社員が、既設多核種除去設備(A)系鉄共沈処理用カメラにノイズの発生、炭酸塩沈殿処理用液位計指示値の変動、および各電圧変換機より異音を確認。 既設多核種除去設備(A)系は監視出来ない状態であるが、予備機による運転が可能であるため汚染水処理に影響はない。 今後、原因について現場調査を実施予定。	GIII	3月9日	
5	【2号機タービン建屋空調機用空気冷却器の冷媒漏えいについて】 協力企業作業員が、東日本大震災以降使用していない2号機タービン建屋空調設備の冷却器9A、9B、10A、10B、11A、11B、12A、12Bの冷媒回収作業を行ったところ、充填した量の冷媒が回収出来なかったことから冷媒が漏えいしていたことを確認。 原因は、1号機の水素爆発により飛散したガレキによって、当該冷却器が損傷し漏えいしたものと推定。 なお、冷媒漏えいについては、福島県相双地方振興局へ報告予定。	GIII	3月9日	
6	【増設雑固体廃棄物焼却設備の焼却炉室送風機(B)の軸受からの異音について】 当社運転員がパトロールにおいて、増設雑固体廃棄物焼却設備の焼却炉室送風機(B)の軸受からの異音を確認。 当該軸受けに給油を実施したが、異音は解消しなかった。 送風機は3台中2台運転であり、(A)(C)号機に異常はないため、現時点で建屋の空調に影響はない。 今後、当該軸受けを交換する。	GIII	3月10日	